

# 夏の玩具追記

記者

■夏の玩具に就ては既に前號にも記載いたしました。だがその後の調査に係る分を少しく記してみることに致します。それは主に本年になつて新に案出され、製作されたものでありますが、先づ數ある玩具の中では木製の自働ボートの如きは子供の喜ぶものでありませう。

■其の帆は風の向きに随つて、何れにも自由自在に働き、船底には鉛の重味があつて、帆の動くまに、舵も自然に方向を轉じて船は輕快に航行する仕掛になつて居ります。大ききは種々あつて値段も亦様々であります。大小に依つて二十七錢位から一圓九十錢位までに分れて居ります。

■此外船の玩具は澤山ありますが、自働するもので面白いのはモーターボートであります。これは木製とブリキ製との二種があります。兩方ともアルコール、ランプが装置されてありまして、一度

これを焚き付けると、三十分間位は機械の運轉で水の中を自由に航行するのであります。値段はブリキ製のものが一圓二十錢位、木製が一圓八十錢見當であります。

■又センマイ仕掛になつて居るブリキ製の自働ボートや自働軍艦があります。値段はボートの方が四十錢から七八十錢まで、軍艦の方が一圓二三十錢であります。自働物以外には、木製セルロイド製の各種の船があります。

■船以外の玩具としてはセルロイド製の鳥類や魚類があります。是等は五個一組の網入で三十錢であります。其他水中の玩具としてはゴム及びブリキ製の潜水人形があります。この人形はゴム管によつてゴム球につながれて居ります。ゴム球を握れば件の人形は巧みに浮き沈みする仕掛になつて居ります。

■砂遊びの玩具としてはシヤベル其他コップ様のもの四個を一組としたものが、番多く焼繪の施してある木製が一組四十錢位であります。取外しの出来る組立ての砂車も同様に焼繪が施してあります。木製が一個三十五錢位から六十錢位まであります。